

施行例はI期2例, III_A期4例, III_B期1例であり, 生存例はIII_A期の3例で相対治癒切除以上施行例であり23~31ヵ月健存しDFIは22~24ヵ月であった。手術非施行例では生存例は認められなかった。III_A期でも相対治癒切除術以上が可能な場合CTやRAD合併療法で比較的長期のDFIが期待されると思われた。

54. Cushing症候群を呈した小細胞肺癌の1例

九州大胸部疾患研究施設

川崎雅之, 中野寛行
松本幸一郎, 松木裕暁
八並 淳, 橋本修一, 中西洋一
相沢久道, 原 信之
症例は70歳, 女性。咳嗽, 体重増加, 満月様顔貌を主訴に入院。TBBにて小細胞肺癌の診断が得られたが, 精査中に多毛, 脱力, 色素沈着が出現した。検査成績では, 低K血症, 高血糖, 血中ACTHの上昇, 日内変動のないコーチゾールの上昇がみられた。TBB標本の免疫組織染色と培養細胞上清のIRMAにて, 腫瘍細胞による異所性ACTH産生が証明された。化学療法による反応は良好で, 治療経過に伴って, ACTH, コーチゾールは正常化した。

55. 末梢血幹細胞移植を補助療法として超大量化学療法を施行した小細胞肺癌の1治療経験

九州大胸部疾患研究施設

越智博文, 田中拓夫, 松木裕暁
川崎雅之, 八並 淳, 橋本修一
中西洋一, 相沢久道, 原 信之
症例は53歳, 男性。咳嗽, 嗄声, 顔面・頸部腫脹を主訴に1993年11月当科入院。III_B期小細胞肺癌と診断。conventional chemotherapyを2クール施行し, good PRを確認した上で,

末梢血幹細胞移植併用下, 大量化学療法を施行した。grade4の骨髓機能低下と, grade2の発熱以外, 重篤な合併症もなく安全に施行することができた。

56. 化学療法に耐性を示した肺小細胞癌の解析

長崎大第2内科 岡三喜男

檜崎史彦, 渡辺正実, 原 耕平
国療南福岡病院内科 福田正明

手術前に化学療法単独および放射線併用療法を行った肺小細胞癌3例について, 薬剤耐性因子を検討した。全例にCDDPとVP16が投与され, 臨床効果判定はPRとNCであった。解析は, 多剤耐性癌細胞株を対照として, 腫瘍部と正常部について, 遺伝子と蛋白レベルで比較した。その結果, MDR1およびPGP, またはMRPの高い発現がみられ, GST-piは陰性であった。肺小細胞癌の薬剤耐性には, MDR1とMRP耐性遺伝子の関与が考えられる。

57. 原発性肺小細胞癌血中CEA陽性例の臨床病理学的検討

熊本地域医療センター呼吸器科

瀬戸貴司, 千場 博, 深井祐治

松木美才, 瀬戸真由美
同 病理 蔵野良一

原発性肺小細胞癌(SCLC)と診断, 抗癌化学療法(CT CBDCA VP-16)が4クール施行された50例中, CEA陽性31例のCT成績を中心に検討した。CEA値は病期進行に相関せず, CEA高値例はCT奏効率が低い傾向にあった。また, CT効果に関わらず生存期間が長い症例が認められた。CEA陽性例に好酸性核小体の出現率が高かった。以上よりCEA高値例には本来SCLCからは区別すべき細胞群が含まれている可能性が示唆さ

れた。

58. 肺偽リンパ腫の1例

熊本中央病院呼吸器科, 病理研究科 岡本 勇, 藤野 昇

早坂真一, 吉永 健, 木山程荘

大塚陽一郎, 絹脇悦生

症例は60歳男性。検診の胸部レントゲンにて結節影を指摘され経気管支鏡的生検にて, 偽リンパ腫が疑われた。右上葉切除術施行し切除標本の免疫組織化学的検索にて増殖しているリンパ球のPolyclonalityを証明し偽リンパ腫と確認した。

59. 気管脂肪腫の1切除例

国病九州がんセンター呼吸器部

田山光介, 高井英二, 上田剛資

高梨伸子, 横山秀樹

矢野篤次郎, 麻生博史

一瀬幸人

胸部CTにて偶然発見され診断困難であった気管脂肪腫を経験したので報告する。症例は60歳, 女性で胸写異常影の精査中, 胸部CTで気管分岐部直上に小結節を認め入院。内視鏡的には表面平滑な腫瘤で, 右主気管支を90%閉塞していた。回数を生検, 穿刺で診断が得られなかったため根治手術を行った。気管下部右側の腫瘤を切除し, 術中迅速病理診断で脂肪腫と診断された。術後経過良好で再発の兆候無く現在社会復帰している。

60. 胸壁に発生したCastleman病

長崎大第2内科

中野令伊司, 高谷 洋

早田 宏, 岡三喜男, 原 耕平

症例は40歳, 男性。症状はなく, 胸部レントゲンで右下肺背側に6×7cmの異常影を指摘され入院。腫瘤は, 胸膜外サインを伴い, CTでは造影効果がみられ, MRIではT1低信号, T2高信号を呈した。手術では腫瘤は